

実践英語

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 松田 竜宙 助教		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
担当教員	松田 竜宙 助教		
対象学年	1	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 14 コマ 28 時間
期間	前期		演習 0 コマ 0 時間 実習 0 コマ 0 時間

・学修方針（講義概要等）

このコースは、看護英語を題材にした DVD 教材を使用しながら、様々な医療場面で必要とされるコミュニケーションスキルの養成および関連知識の習得を目的とする。ここで学修する内容は、医療人を志す皆さんが今後、それぞれの専門分野で学ぶ際に役立つ知識や、文献を読む際に不可欠な医療に関する基礎的な語彙も提供する。

具体的には、DVD 教材を通じて患者さんとの対話におけるコミュニケーションのポイントを押さえ、医療に関する英語表現や会話の練習を行う。この練習により、患者さんの訴えを正確に聞き取り、適切に対応するスキルを磨く。同時に、基礎編から応用編まで様々なメディカルターム（臓器、病気の名称等）の語彙の習得にも取り組む。講義では、このようなアクティビティを通じて、日常生活や医療現場等で幅広く活用できる実践的な英語表現やコミュニケーションに関する知識・方法を学修し、将来、諸外国の人々と英語でスムーズに意思疎通を図ることができるよう訓練する。

・教育成果（アウトカム）

意思伝達に関する実践的な英語表現・知識・方法等を学修することにより、グローバル社会で医療人に不可欠なコミュニケーション能力を向上させる上で必要な技能、能力を修得できる。（ディプロマポリシー：1, 2, 4, 5, 6, 7）

・到達目標（SBO）

1. 様々な医療場面でのコミュニケーションに関連した語彙、英語表現を習得し運用できる。
2. 患者さんの訴えを正確に聞き取り、英語で適切に対応することができる。
3. DVD を視聴しネイティブ・スピードの英語に慣れると同時に、内容を理解・発音できる。
4. 実践的な英会話を通じて、快適でスムーズなコミュニケーションの環境をつくる要素を理解できる。

・ 講義日程
【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/17	金	4	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>ガイダンス Unit 1: Greetings</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者さんとの様々な挨拶の仕方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（医療従事者の名称）を学び、英語で応用できる。 <p>【グループワーク】 事前学修：自己学修 DVD を使用して Dialogue (p. 2-) の音声を聴き、空所に英語を書き入れておく。</p>
4/23	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 2: Giving Explanations</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者さんへの説明の仕方と行動を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（体全体の名称）を学び、英語で応用できる。 <p>【ディスカッション・グループワーク】 事前学修：Dialogue (p. 8-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
4/30	木	4	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 3: Tests (X-ray)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検査について患者さんに的確に伝える方法を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（頭部の名称）を学び、英語で応用できる。 <p>【ディスカッション・グループワーク】 事前学修：Dialogue (p. 14-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>

5/7	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 4: Inviting the Patient to Talk, and Listening</p> <p>1. 患者さんの個人的な状況や感情を汲み取る方法を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（臓器の名称）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション・グループワーク】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 20-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/14	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 5: Nursing Care and Asking Permission</p> <p>1. 患者さんの許可を得る方法を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（処置に関する表現）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション・グループワーク】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 26-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/21	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 6: Injection</p> <p>1. 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（感染症と予防接種の名称）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション・グループワーク】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 32-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/28	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 7: Vital Signs</p> <p>1. 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（バイタルサインに関する表現）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 38-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>

6/4	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 7: Vital Signs</p> <p>1. 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（バイタルサインに関する表現）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション・グループワーク】</p> <p>事前学修：出版社の Web 動画で Unit 7-1bad dialogue を視聴し、Unit 7-2good dialogue でどのような点が改善されているかを考える。</p>
6/11	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 9: Operation</p> <p>1. 患者さんへの手術前の指示や再確認する表現を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（様々な痛みに関する表現）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 50-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
6/18	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 9: Operation</p> <p>1. 患者さんへの手術前の指示や再確認する表現を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（様々な痛みに関する表現）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション・グループワーク】</p> <p>事前学修：出版社の Web 動画で Unit 9-1bad dialogue を視聴し、Unit 9-2good dialogue でどのような点が改善されているかを考える。</p>
6/25	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 11: Medication (1)</p> <p>1. 投薬に関する指示や患者さんへの確認の仕方を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（投薬に関する表現）を学び、英語で応用できる。</p>

					<p>【ディスカッション】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 62-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
7/2	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 11: Medication (2)</p> <p>1. 投薬に関する指示や患者さんへの確認の仕方を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（投薬に関する表現）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション・グループワーク】</p> <p>事前学修：出版社の Web 動画で Unit 11-1bad dialogue を視聴し、Unit 11-2good dialogue でどのような点が改善されているかを考える。</p>
7/9	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 15: Consultation (Cancer)</p> <p>1. 患者さんの気持ちを尊重し相談に乗る会話の進め方を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（頻用される略語）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 86-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
7/16	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 15: Consultation (Cancer)</p> <p>1. 患者さんの気持ちを尊重し相談に乗る会話の進め方を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（頻用される略語）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ディスカッション・グループワーク】</p> <p>事前学修：出版社の Web 動画で Unit 15-1bad dialogue を視聴し、Unit 15-2good dialogue でどのような点が改善されているかを考える。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Everyday English for Nursing on DVD	Yasuko Onjohji, John Skelton	SEIBIDO	2017

・成績評価方法

【総括的評価】 期末試験：70%（論述式 10%、記述式 50%、MCQ10%）、確認テスト（第 4, 7, 12, 14 回講義で行う）：25%（記述式 25%）、授業時の参加態度（ペア・グループワークでの発話練習など）：5%

【形成的評価】 各回の講義にて、振り返りシートの提出を求め、学習の成果を確認する。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1	2,4,5,6,7,			10	20			30
2	1,5,6,			10	20			30
3	6			5	20			25
4	4,6,7				10		5	15
合計				25	70		5	100

・特記事項・その他

1. 学期中に 4 回の確認テストを行う。
2. 確認テストを実施した場合は採点后に返却・解説する。また、提出課題については添削後コメントを付して返却する。
3. 授業では関連トピックについてペア・グループワークで練習する機会を設ける場合がある。
4. 事前・事後学修および学修時間
学修内容の理解を深め定着を図るために、授業範囲については必ずわからない単語や表現の意味を調べ、概要を理解してから授業に臨む。併せて、自己学修 DVD を活用して英語を聴く習慣をつけることで、リスニング強化につながる。事前学修の時間は最低 40 分を要する。事後学修として復習する際は、授業で分からなかった（間違えた）ところや、特に重要なポイントと指摘された箇所を見直し、自己学修 DVD で再確認する。会話表現は音読して、単語の発音やアクセントを確認しながら復習する。なお、事後学修の時間も最低 40 分を要する。

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC（東芝）	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（富士通）FMV-N F 40W	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（Panasonic）R7/U7600	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（Apple）NA877J/A	1	資料作成、講義プレゼン用

講義	ノート型 PC (SONY) VGC-LN52JGB	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (NEC) PC-YV22AEDAMBL6	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	PC (Apple) iMac27/3.20GHzCorei3	1	資料作成
講義	ノート型 PC (Panasonic) CF-J9/LUDDDS	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	iPod (Apple)	5	リスニング、課外自習等
講義	CD /DVD プレーヤー	4	リスニング、DVD 教材視聴覚用
講義	ノートパソコン (Mac Book Air CTOZOJK)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	HD ビデオカメラ式 (Canon・M52)	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン (富士通・PH50/E)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (富士通・MH30/G)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	デスクトップパソコン (iMac27・ZOJN CTO Education)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (Panasonic・CF-J9LLUDDDS)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	液晶プロジェクター (SONY・VPL-EW7)	1	講義プレゼン用